

「もしかして高齢者虐待？」と思つたら、

地域包括支援センターへご連絡を

■早期に発見し連絡を…

「虐待ではないかもしない」ではなく「虐待にあたるのでは」と考えて、支援を始めることが大切です。虐待行動をしている家族自身もまた苦しんでいて、身体的・精神的な支援を必要としています。



■高齢者虐待とは？

「虐待」は、人としての尊厳を踏みにじり、命にもかかわる深刻な人権侵害です。

「虐待」というと「暴力をふるわれている」ことを想像しがちですが、それだけではありません。暴力などの「身体的虐待」に限らず、「介護・世話の放棄」、本人の合意なしに財産や金銭を使用する「経済的虐待」、言葉の暴力や無視といった「精神的虐待」、性的な行為を強要する「性的虐待」なども「虐待」にあたります。

高齢者に対する、これらの中の虐待行動をすることを「高齢者虐待」と言ひます。

■高齢者虐待が起る要因

加齢やけがによる身体能力の低下、過去からの人間関係の悪化、認知症の発症・悪化、判断能力の低下、性格、精神不安定な状態、相談者がいないなど。

【虐待者の問題】



過去からの人間関係の悪化、介護負担による心身のストレスや疲れ、収入不安、定、高齢者に対する恨み、相談者がいない、親族からの孤立など。

■本人の問題

加齢やけがによる身体能力の低下、過去からの人間関係の悪化、認知症の発症・悪化、判断能力の低下、性格、精神不安定な状態、相談者がいないなど。

【虐待者の問題】



過去からの人間関係の悪化、介護負担による心身のストレスや疲れ、収入不安、定、高齢者に対する恨み、相談者がいない、親族からの孤立など。

■なぜ高齢者虐待は表面化しにくいのでしよう？

どんな行為が虐待に当たるのか、介護者の知識不足で不適切な対応に気づかず、結果として虐待になつていることがあります。

また、虐待を受けていた高齢者自身が世間体を気にして家族をかばい、虐待を否定することもあるなど、さまざまな要因が表面化せずに隠れてしまつたため、発見にくくなっています。

■連絡は、地域包括支援センターへ

「もしかして虐待では？」と思つたら、地域包括支援センターに連絡してください。



地域包括支援センターは、虐待を受けた高齢者や介護を行う家族を支援するため、さまざまな機関と協力し、高齢者の尊厳を保ち、安心して暮らせる支援策を一緒に考えます。

【その他の問題】

親族関係の悪さ・孤立、近隣・社会との関係の悪さ・孤立、家族の力関係の変化、家屋の老朽化・不衛生、人通りの少ない環境など。



「虐待ではないかもしない」ではなく「虐待にあたるのでは」と考えて、支援を始めることが大切です。虐待行動をしている家族自身もまた苦しんでいて、身体的・精神的な支援を必要としています。



◆連絡・問い合わせ先

地域包括支援センター
☎ ⑤6001 有線⑥1148